

**令和6年度**

**高取町教育委員会評価報告書  
(令和5年度実施事業分)**

**高取町教育委員会**

令和6年度高取町教育委員会評価報告書  
(令和5年度実施事業分)

令和6年12月  
高取町教育委員会  
教育長 関口 純司

令和6年度高取町教育委員会評価報告書(令和5年度実施事業分)の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、高取町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、評価・提案いただいた報告書を下記のとおり提出します。

記

1 評価・提案対象

- ・ 教育総務
- ・ 学校教育
- ・ 学校保健
- ・ 文化財
- ・ 社会教育
- ・ 社会体育

2 評価期日 令和6年11月29日(金)

## 高取町教育委員会の会議開催状況と活動内容について

- 1 教育委員会5名（教育長を含む）
- 2 委員会の開催 年12回開催（定例会）

開催日	議事内容（協議・報告事項）
令和5年4月12日	・ 事務局職員及び教職員の人事異動結果について
	・ 中学校卒業生進学先について
	・ 幼児児童生徒数について
	・ 学校園教育課程の編成等について
	・ 令和4年度通学路危険箇所対策について
	・ 学校評議員の任命について
	・ リベルテホール図書室の利用状況について
令和5年5月9日	・ 生涯学習リベルテ教室の申し込み状況について
令和5年6月20日	・ 高取町議会第2回定例会の報告案件について
	・ 高取町就学奨励金給付審査会の審査結果について
令和5年7月11日	・ 協議報告事項なし
令和5年8月30日	・ 来年度使用教科用図書採択について
	・ 高取町議会第1回臨時議会について
令和5年9月12日	・ 高取町議会第3回定例会について
令和5年10月10日	・ 高取町議会第3回定例会の報告案件について
令和5年11月14日	・ 高取町教育委員会事務事業評価について
	・ 全国学力・学習状況調査結果の公表について
令和5年12月19日	・ 教職員の年度末人事異動スケジュールについて
	・ 高取町議会第4回定例会の報告案件について
	・ 各学校園の卒業式及び入学式の日程について

開催日	議事内容（協議・報告事項）
令和6年1月9日	・ 協議報告事項なし
令和6年2月13日	・ 次年度高取町教育委員会行政方針（案）について
	・ 高取町議会第1回定例会の上程案件について
	・ 体力調査結果について
	・ 次年度1学期始業式及び終業式の日程について
	・ 次年度「二十歳のつどい」の日程について
令和6年3月14日	・ 高取町議会第1回定例会の報告案件について
	・ 教職員人事異動について
	・ 次年度各学校（園）の幼児児童生徒見込数について
	・ 高取中学校の高校入試結果について（令和6年3月14日時点）
	・ 次年度生涯学習リベルテ教室の募集について

### 3 委員の活動

開催日	活動内容
令和5年7月8日	高取町差別をなくす町民集会
令和5年9月26日	高取中学校体育大会
令和5年10月3日	たかむち小学校訪問/高取中学校訪問
令和5年10月19日	たかとり幼稚園運動会
令和5年10月21日	たかむち小学校運動会
令和5年10月29日	高取町民スポーツフェスティバル
令和5年11月2日	たかとり幼稚園訪問
令和5年11月15日	奈良県市町村教育委員会連合会研修大会
令和6年1月7日	二十歳のつどい
令和6年3月13日	高取中学校卒業式
令和6年3月15日	たかとり幼稚園修了式
令和6年3月19日	たかむち小学校卒業式

4 総合教育会議（町長、教育長、教育委員4名、総務課、教育委員会事務局）

開催日	内 容
令和6年1月23日	・ 第2期教育大綱について
令和6年2月26日	・ 第2期教育大綱について

# 高取町教育委員会及び事務局構成

令和5年5月1日現在

## 高取町教育委員会

教育委員会	教育長	1	委員	4					計	5
教育委員会事務局	教育次長	1	次長補佐	1	学校教育	2	社会教育	2	計	10
	社会体育	1	文化財	2	給食センター	1	技師	0		

## 高取町立学校（園）構成

### たかむち小学校

児童数	1年生	32	2年生	42	3年生	43	4年生	32	計	252
	5年生	51	6年生	39	特支	13				
教諭	校長	1	教頭	1	教諭	14	講師	6	計	27
	養護教諭	1	栄養職員	1	事務員	1	用務員	(2)		
学校医	校医	1	歯科医	1	薬剤師	1			計	3

### 高取中学校

生徒数	1年生	46	2年生	52	3年生	49	特支	3	計	150
教諭	校長	1	教頭	1	教諭	12	講師	1	計	19
	養護教諭	1	栄養職員	0	事務員	1	用務員	(2)		
学校医	校医	1	歯科医	1	薬剤師	1			計	3

### たかとり幼稚園

園児数	3歳児	4	4歳児	8	5歳児	15			計	27
教諭	園長	1	副園長	1	主任	1	教諭	3	計	7
	用務員	1								
幼稚園医	園医	1	歯科医	2	薬剤師	1			計	4

# 教育総務

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	高等学校等就学奨励金事業（継続）		
分類	教育総務		
事業の目的	経済的理由等により、就学が困難な者の高等学校等への就学を容易にし、その者の資質の増進を図ることを目的とする。		
事業内容の説明	高取町高等学校等就学奨励金給付要綱で定める就学が困難な者に対して入学年次1回限り5万円の給付を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	高等学校等就学奨励金給付者数	1	5
備考			
実績	令和4年度に1件、令和5年度に5件、それぞれ給付申請があり、それぞれ1件、5件の給付決定を行った。		
成果と課題	今年度は対象となる生徒の保護者からの申請が多く、結果として前年度を超える支給となった。		
今後の取組み	高等学校等への進学を容易にする高等学校等就学奨励金を、今後も奨励金を必要とする保護者に対して給付ができるよう周知を継続していく。		
総合評価	<b>A</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	学校教育活動支援事業（継続）		
分類	教育総務		
事業の目的	学校教育活動の一層の充実及び教職員の「働き方改革」の実現を図ることにより、児童生徒へのよりきめ細かな指導につなげることを目的とする。		
事業内容の説明	学習につまづきがある児童生徒を補助する「学習指導員」及び教職員に代わって印刷業務や教材作成補助等を行う「スクールサポートスタッフ」を配置し、教職員の支援を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	学習指導員配置時間数（年間）	1,047	984
	スクールサポートスタッフ配置 時間数（年間）	1,520	896
備考	※令和5年度は、高取中学校から配置要望がなかったため、スクールサポートスタッフを配置していない。		
実績	<p>令和4年度配置時間                      小学校－学習指導員 1,047時間                      小学校－スクールサポートスタッフ 800時間                      中学校－スクールサポートスタッフ 720時間</p> <p>令和5年度配置時間                      小学校－学習指導員 984時間                      小学校－スクールサポートスタッフ 896時間                      中学校－スクールサポートスタッフ 0時間</p>		
成果と課題	小学校に「学習指導員」を2名、「スクールサポートスタッフ」を2名、合計1,880時間の配置を行った。		
今後の取組み	児童生徒への指導の充実、教職員の「働き方改革」の実現のため、今後も継続して「学習指導員」「スクールサポートスタッフ」の配置を継続する。 また、令和6年度は、高取中学校でのICT教育推進のため、再度「スクールサポートスタッフ」の配置を行う。		
総合評価	<b>D</b>		

# 学校教育

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	確かな学力の育成 (継続)					
分類	学校教育					
事業の目的	将来の高取町を担う人づくりを目指して、その活力あるまちづくりの原動力となる豊かな人間性と創造力をそなえ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目的とする。					
事業内容の説明	令和5年度全国学力・学習状況調査 【調査対象児童生徒数】 小学6年生 40名(内2名未実施) 中学3年生 50名(内4名未実施) 実施教科：国語、算数・数学、英語 (中学校のみ)					
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績			
	全国学力・学習状況調査 (小学校) (平均正答率 (県比較数値))	104.3	95.3			
	全国学力・学習状況調査 (中学校) (平均正答率 (県比較数値))	96.4	92			
備考	※県比較は、県平均正答率を100とした際の町平均正答率の数値である。 全国学力・学習状況調査以外にも「生活発表会 (幼稚園)」や「6年生を送る会 (小学校)」など子どもの成長を確認できる行事も行っている。					
実績	【令和4年度平均正答率】		【令和5年度平均正答率】			
		町	県		町	県
	小学校国語	68%	63%	小学校国語	64%	65%
	小学校算数	64%	62%	小学校算数	57%	62%
	小学校理科	62%	61%	中学校国語	64%	67%
	中学校国語	65%	68%	中学校数学	45%	50%
	中学校数学	49%	50%	中学校英語	40%	45%
	中学校理科	46%	48%			
成果と課題	令和5年度調査結果において、小学校、中学校ともにすべての教科で県平均をやや下回っている。数値上、特に算数・数学、英語に課題が見られる。					
今後の取組み	デジタルドリルの活用により児童生徒1人1人の進捗度に応じた学習を提供し、デジタルドリルの回答内容を集約したデータを児童生徒1人1人が自己分析することにより、自分の得意・不得意を認知できるようにする。リスニングスキル、スピーキングスキルの向上を目的とし、ALTをより一層活用するなど学力の向上に努める。					
総合評価	<b>C</b>					

評価基準 指標数値 $\geq$ 前年度比105%→「A」 前年度比95% $\leq$ 指標数値 $<$ 105%→「B」  
前年度比80% $\leq$ 指標数値 $<$ 95%→「C」 指標数値 $<$ 前年度比80%→「D」 評価なし→「-」

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	豊かな人間性の育成（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	将来の高取町を担う人づくりを目指して、その活力あるまちづくりの原動力となる豊かな人間性と創造力をそなえ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目的とする。		
事業内容の説明	各学校で体験学習、芸術活動、社会奉仕活動など子どもの人間性や想像力を醸成する学校活動を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	高取中学校音楽発表会関係授業時間 及び芸術鑑賞会授業時間数（年間）	15	32
	たかむち小学校体験学習授業 時間数（年間）	28	23
備考			
実績	たかむち小学校では、体験学習として「いのちの学習」「教育ファーム」「町探検」「校区探検」等行った。  高取中学校では、音楽の授業を中心とした合唱練習及び合唱コンクールに向けた学級活動での準備など行った。 また、芸術鑑賞会では「三遊亭究斗」氏を招き、ミュージカル落語を鑑賞した。		
成果と課題	新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったことにより、コロナ禍以前の学校活動へ徐々に戻していくことができた。		
今後の取組み	引き続き子どもの豊かな人間性の育成のため、現在実施している事業を継続していく。		
総合評価	<b>A</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	たくましい心身の育成（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	将来の高取町を担う人づくりを目指して、その活力あるまちづくりの原動力となる豊かな人間性と創造力をそなえ、知・徳・体の調和のとれた子どもの育成を目的とする。		
事業内容の説明	令和5年度奈良県児童生徒体カテスト 調査対象児童生徒数：小学5年生 53名 中学2年生 53名 調査項目：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	奈良県児童生徒体カテスト（小学校） （県比較数値）	104.6	109.3
	奈良県児童生徒体カテスト（中学校） （県比較数値）	101.6	99.5
備考	県比較数値は、奈良県平均を100とした際の町平均の数値である。小中学校で実施した8種目の県比較数値の平均を学校種別で算出している。		
実績	令和5年度奈良県児童生徒体カテスト（県比較数値） 男子 女子 小学校 110.3 108.3 中学校 96.8 102.1  また、各学校園では運動会、体操教室や縄跳び月間など児童生徒の心身の育成に資する体育的行事も行われている。		
成果と課題	小学校では、男子が7種目、女子が7種目で県平均数値を上回っていた。男子は立ち幅跳びで、女子は握力で県平均数値を下回っていた。中学校では、男子が2項目、女子が4項目で県平均数値を上回っていた。男女共通して20mシャトルラン、50m走、ボール投げに弱く、ともに県平均数値を下回っていた。		
今後の取組み	基礎体力の増強につながる体育の時間と体育的行事の充実など、引き続き子どものたくましい心身の育成を継続していく。		
総合評価	<b>B</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	ICT教育の充実（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	GIGAスクール構想によって導入したICT環境を十分に活用できる児童生徒の育成を目的とする。		
事業内容の説明	GIGAスクール構想により1人1台端末を用いた授業、デジタルドリルによる児童生徒1人1人の進捗に合わせた学習など、ICT機器を活用して学習する過程で児童生徒のICT機器活用スキルの向上が見込まれるような学習方法を各学校で行っている。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	たかむち小学校ICT機器利用率	75.0%	74.5%
	高取中学校生徒ICT機器利用率	72.7%	78.9%
備考	児童生徒ICT機器利用率は、年間授業日数に対して1日1回以上学校で児童生徒がICT機器を利用した日数の割合である。		
実績	<p>ICT機器利用率（令和5年度）</p> <p>小学1年 34.5% 小学2年 58.8% 小学3年 88.2%</p> <p>小学4年 88.2% 小学5年 88.2% 小学6年 89.1%</p> <p>中学1年 76.2% 中学2年 76.0% 中学3年 84.3%</p> <p>※小学1年生は、端末利用に先立ち必要となる技能（読み書き等）を習得してから利用開始しており、他学年に比べて利用開始が遅いため、利用率が低くなっている。</p> <p>※令和4年度中に導入したデジタルドリルを中学3年生が朝学習の時間に活用し始めたことにより、大幅に利用率の増加が確認できた。 (R04 中3 65.0%→R05 中3 84.3%)</p>		
成果と課題	年々端末活用が進むことに伴い、利用率の増加が確認されている。 宿題など家庭学習での活用も進めていくことが今後の課題であると考えます。		
今後の取組み	奈良県が実施している先生向けのICT研修を勧奨するなどICTを活用した教育が環境づくりを今後も継続して進めていく。		
総合評価	<b>B</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	キャリア教育の充実（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	自分の将来や進路に夢や希望をもって学び、社会的自立・職業的自立に向けて必要な意欲・態度の育成を目的とする。		
事業内容の説明	令和2年度から開始した「キャリアパスポート」をはじめとした発達段階に応じたキャリア教育を各小中学校で行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	高取中学校キャリア学習授業 時間数（年間）	18	66
	たかむち小学校キャリア学習授業 時間数（年間）	60	60
備考	※高取中学校では、職場体験学習の再開、入試制度変更に伴うフォローアップ授業の実施により指標となる授業時間数が大幅に増加している。		
実績	たかむち小学校ではキャリアパスポートの作成を通じて児童に将来の職業を考えさせる教育を行った。 高取中学校では令和5年度から職場体験学習を再開した。また、いくつかの職業の方をゲストティーチャーとして招き、講義を実施した。今年度から高校入試出願システムが運用開始されるなど入試制度に大きな変更があったため、生徒に対するフォローアップ授業も実施した。		
成果と課題	新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことに伴い、コロナ禍以前と同じように各学校においてキャリア教育を行うことができた。		
今後の取組み	児童生徒の職業観及び主体的に進路を選択する能力を向上させるため、今後もキャリア教育を継続していく。		
総合評価	<b>A</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	生徒指導の充実（継続）											
分類	学校教育											
事業の目的	多様化・深刻化する子どもたちの問題行動、いじめや不登校等に適切に対応できる組織体制の確立を目的とする。											
事業内容の説明	臨床心理士の資格を持つ者を教育相談員として採用し、毎週金曜日午後に児童生徒及びその保護者を対象とした教育相談を行う。											
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績									
	教育相談実施回数（年間）	45	41									
備考	相談回数の減少は「相談事を抱える児童生徒の減少」でもあるため、総合評価欄は「－」とする。											
実績	<table border="0"> <tr> <td></td> <td>相談件数</td> <td>延べ相談回数</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>09件</td> <td>45回</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>14件</td> <td>41回</td> </tr> </table> <p>また、上記の教育相談事業の実施以外にも不登校生徒に対して授業動画配信を行うなど、学校に来ることができない生徒に対する学習支援も併せて行った。</p>				相談件数	延べ相談回数	令和4年度	09件	45回	令和5年度	14件	41回
	相談件数	延べ相談回数										
令和4年度	09件	45回										
令和5年度	14件	41回										
成果と課題	児童生徒数の全体的な減少に伴い、相談回数にも若干の減少が確認された。											
今後の取組み	教育相談だより等教育相談に対する心理的抵抗感を払拭できるような広報を行い、少しでも相談しやすい環境を整えていく。また、教育相談の中で発達検査ができるようにし、教育支援、就学相談にスムーズにつなげていける体制づくりも進める。											
総合評価	—											

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	幼稚園・小学校・中学校間の交流と連携（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	幼稚園・小学校・中学校の交流を密にすることにより、幼児児童生徒への継続的な教育の提供を行い、所謂「小1プロブレム」「中1ギャップ」の解消を目的としている。		
事業内容の説明	学校（幼稚園）行事の中に他校種と交流する行事を設けたり、小中学校の先生同士で情報共有をしたりする。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	幼保小交流会実施回数（年間）	1	1
	小中連絡会実施回数（年間）	1	1
備考			
実績	<p>幼保小交流会について、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施方法等を検討しつつ実施したが、令和5年度は5類になったこともあり、コロナ禍以前と同じように実施することができた。</p> <p>小中連絡会については、来年度から中学校へ進学する児童の情報を小中学校の先生同士で共有することで、進学後の円滑な生徒指導につなげることができている。</p>		
成果と課題	<p>幼小連携においては、交流会や体験学習を通じて、小中連携においては、小中連絡会や文化発表会の参観等を通じて、それぞれ実施することができた。</p>		
今後の取組み	<p>児童生徒にとって入学して初めての躰きになりうる「小1プロブレム」「中1ギャップ」の解消のため、今後も継続して学校園間の交流事業を継続して実施していく。</p>		
総合評価	<b>B</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	通学路整備事業（継続）		
分類	学校教育		
事業の目的	幼児児童生徒に安心・安全な通学・通園環境を保障することを目的としている。		
事業内容の説明	高取町連合PTAのご協力のもとに危険箇所を特定し、高取町通学路交通安全プログラムに基づいた合同点検を行い、対策内容を検討した上で、危険箇所の改善を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	通学路危険箇所合同点検実施回数 (年間)	1	1
備考			
実績	令和5年8月24日 通学路合同点検事前打合せ 令和5年10月11日 通学路合同点検 (PTA・学校・警察・道路管理者参加) 令和5年11月24日 高取町通学路安全推進会議		
成果と課題	令和5年度では、通学路危険箇所12か所について、高取町通学路安全推進会議を開き、対策内容の検討を行い、予算上対策が年度内に可能であった8か所について対策を完了した。 残りの4か所についても、関係各課と連携を図りながら対策を進めていく。		
今後の取組み	通学路の危険箇所対策は、幼児児童生徒の生命を守る上で重要な取組みである。 これからも定期的な合同点検及び対策を行っていく。		
総合評価	<b>B</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給事業 (継続)		
分類	学校教育		
事業の目的	高取町立小中学校へ就学する児童生徒のうち、経済的理由により就学が困難な児童生徒の世帯を対象として就学援助費を支給することにより、児童生徒の就学への一助を目的としている。		
事業内容の説明	学用品費、校外活動費、学校給食費、修学旅行費など費目ごとに支給額を定め、支給対象となった世帯へ支給を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	要保護・準要保護児童生徒就学援助費認定者数 (人)	68	50
	要保護・準要保護児童生徒就学援助費 (円)	4,264,290	2,286,407
備考	※就学援助費のうち1人あたりの支給金額が高いのは小学6年生、中学3年生であり、令和4年度は、令和5年度に比べてその学年が全体に占める割合が大きかった。そのため、令和5年度は、認定者数の減少以上に支給額の減少が確認された。		
実績	<p>令和4年度</p> <p>要保護 1名 (小学校: 0名 中学校: 1名)</p> <p>準要保護 67名 (小学校: 33名 中学校: 34名)</p> <p>令和5年度</p> <p>要保護 0名 (小学校: 0名 中学校: 0名)</p> <p>準要保護 50名 (小学校: 27名 中学校: 23名)</p>		
成果と課題	就学援助の支給もあってか、令和5年度の小中学校における「経済的理由による長期欠席者」の数は0人であった。		
今後の取組み	新型コロナウイルス感染症の流行以降、不況が続いていることが影響してか、国の基準額が増加傾向にある。それに合わせて支給額を定めることにより、今後も経済的な理由により就学が困難な児童生徒への援助を継続して行っていく。		
総合評価	<b>D</b>		

# 学校保健

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	学校給食センター施設管理事業（継続）		
分類	学校保健		
事業の目的	適切な学校給食の実施に必要なとなる給食センター施設の安全衛生管理を目的とする。		
事業内容の説明	業者による施設内消毒作業、排水処理槽・浄化槽点検、消防設備点検、受水槽清掃点検、グリストラップ清掃、水電解消毒装置点検に加えて、職員による害虫駆除等を行っている。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	施設内消毒作業回数（年間）	2	2
	排水処理槽点検回数（年間）	26	26
備考			
実績	<p>業者点検回数（年間）            施設内消毒作業 2回 排水処理槽点検 26回 浄化槽点検 4回            消防設備点検 2回 受水槽清掃点検 1回 グリストラップ清掃            1回 水電解消毒装置点検 1回</p> <p>また、業者による点検に加えて、職員により毎日、害虫確認駆除、調理機器の安全確認、日常のグリストラップ清掃等が行われている。</p>		
成果と課題	施設内消毒については、夏休み及び春休みに実施し、あらゆる細菌に対し消毒・滅菌を行っている。また、点検結果を調理員の衛生意識向上に役立てている。		
今後の取組み	今後も継続して各種点検を行うことにより、適切な給食センター施設管理を行っていく。		
総合評価	<b>B</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	安全・安心な学校給食の実施事業（継続）		
分類	学校保健		
事業の目的	児童生徒の心身の健全な発達に資する学校給食の適切な提供を目的とする。		
事業内容の説明	「安全・安心」を基本として学校給食を実施している。また、近年アレルギーがある幼児児童生徒が増加傾向にあり、対応するために米粉や豆乳を使ったアレルギー対応食品やアレルギーが含まれていない商品を選定することで、できるだけ全員が同じものを食べられる環境づくりを行うよう努めている。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	食材検査の実施回数（年間）	1	1
	職員の衛生管理（検便）回数 （月間）	2	2
備考			
実績	上記の食材検査、職員の衛生管理（検便）以外にも、給食調理員を対象とし町主催で年1回研修会を実施する、地産地消の推進の観点から地元農家で作る旬の野菜及び加工品（味噌）を使用する、毎月1回各学校園代表者と給食センター職員で会議を開き、スケジュール確認、当月の問題点整理及び翌月の献立について打合せを行うなど「安全・安心な学校給食の実施」を目的とした取り組みを行っている。		
成果と課題	各種取り組みを継続して実施することにより、食中毒等もなく、安全・安心な学校給食の提供が実施できている。		
今後の取り組み	今後も「安全・安心な学校給食の実施」を目的とした各種取り組みを継続していく。		
総合評価	<b>B</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	教職員ストレスチェック事業（継続）														
分類	学校保健														
事業の目的	教職員のメンタルヘルス不調を未然に防止すること並びにそれによる職場環境の改善を目的とする。														
事業内容の説明	1年に1回、公立学校共済組合が実施するストレスチェックに申し込み、学校園の教職員に受診を促している。														
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績												
	ストレスチェック受診者率	76.7%	77.3%												
備考															
実績	各年度の受診者数内訳 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">令和4年度</td> <td style="text-align: center;">令和5年度</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td style="text-align: center;">5名/6名</td> <td style="text-align: center;">3名/6名</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td style="text-align: center;">19名/21名</td> <td style="text-align: center;">22名/22名</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td style="text-align: center;">9名/16名</td> <td style="text-align: center;">9名/16名</td> </tr> </table>				令和4年度	令和5年度	幼稚園	5名/6名	3名/6名	小学校	19名/21名	22名/22名	中学校	9名/16名	9名/16名
	令和4年度	令和5年度													
幼稚園	5名/6名	3名/6名													
小学校	19名/21名	22名/22名													
中学校	9名/16名	9名/16名													
成果と課題	ストレスチェックの受診は任意であるため、受診率についても例年7割から8割未満で推移している。多忙な先生にどのようにして受診してもらうかが課題となっている。														
今後の取組み	将来を担うこどもたちを教育するという重要な仕事を担っている教職員のメンタルヘルス不調を防ぐため、これからもストレスチェックの実施及びその勧奨を継続していく。														
総合評価	<b>B</b>														

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	災害共済給付事業（継続）																						
分類	学校保健																						
事業の目的	学校園の管理下において幼児児童生徒が負傷、疾病等の災害に遭った際に、その治療費や見舞金の給付を行うことにより、保護者の経済的負担を軽減することを目的としている。																						
事業内容の説明	独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を締結し、学校園の管理下において幼児児童生徒が負傷、疾病等の災害に遭った際に、その治療費や見舞金の給付を行う。 共済掛金については、全額公費負担としている。																						
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績																				
	災害共済給付件数（年間）	46	22																				
	災害共済給付金額（年間）	459,336	221,428																				
備考	災害共済給付件数の減少は「幼児児童生徒の学校管理下での負傷、疾病が減少したこと」を意味するため、総合評価欄は「－」としている。																						
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">令和4年度</th> <th colspan="2">令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼稚園</td> <td>3件</td> <td>5,687円</td> <td>2件</td> <td>1,627円</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>14件</td> <td>71,000円</td> <td>8件</td> <td>37,101円</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>42件</td> <td>382,649円</td> <td>12件</td> <td>182,700円</td> </tr> </tbody> </table>				令和4年度		令和5年度		幼稚園	3件	5,687円	2件	1,627円	小学校	14件	71,000円	8件	37,101円	中学校	42件	382,649円	12件	182,700円
	令和4年度		令和5年度																				
幼稚園	3件	5,687円	2件	1,627円																			
小学校	14件	71,000円	8件	37,101円																			
中学校	42件	382,649円	12件	182,700円																			
成果と課題	医療機関、保護者、学校、教育委員会事務局、日本スポーツ振興センターが連携することにより、適切な給付金の支給を行うことができた。一方で部活動等の影響もあり、中学校での負傷の件数がたかとり幼稚園、たかむち小学校よりも多くなっている。体育の授業や部活動の際に怪我への注意喚起を促す必要がある。																						
今後の取組み	各学校園へ注意喚起を促すとともに、引き続き適正な給付事業を継続していく。																						
総合評価	—																						

# 文化財

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	白壁塚東古墳発掘調査事業（新規）		
分類	文化財		
事業の目的	国指定史跡与楽古墳群内で新たに見つかった横穴式石室を持つ白壁塚東古墳について、露見している石室石材の一部が既に崩落していたことから、保存のための範囲確認調査を実施し、本古墳の概要を把握することを目的とする。		
事業内容の説明	新たに見つかった白壁塚東古墳の範囲確認調査を実施する。具体的には、古墳の墳丘長を確認するためのトレンチ調査と、玄室の概要を把握するため玄室の半裁を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	—	—	—
	—	—	—
備考			
実績	墳丘の範囲を確認するために、角が玄室の直上になるよう、北トレンチ（長さ：13m、幅：1m）及び東トレンチ（長さ：8.9m、幅：1m）からなるL字形の調査区を設定し、両トレンチから墳丘の周囲を巡っていた掘割が検出された。 また、玄室では約1.0m程堆積していた土砂を半裁したところ、床面付近から鉄釘7点等の遺物が出土したことにより、玄室には木棺が納めされていたことが判明した。		
成果と課題	玄室付近から約10mの地点で、墳丘の周囲を巡っていた掘割を北側・東側の2箇所を確認できたが、羨道については未確認のため、墳丘長は判然としない。また、墳形についても判明していないため、そのための調査を実施することが必要である。		
今後の取組み	白壁塚東古墳の墳形の確定、玄室の全面調査、羨道の有無等の情報を得るために発掘調査を継続して実施する。また、出土した金属製品を劣化しないよう適切に管理し、保存処理を施す。		
総合評価	—		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	与楽古墳群整備事業（継続）		
分類	文化財		
事業の目的	巨大な横穴式石室を持つ与楽カンジョ古墳を始め、古墳時代後期から終末期にかけて築造され、残存状態の良い古墳を、一般の方々にも見ていただけるようにするため。		
事業内容の説明	平成26年度から継続して実施している与楽カンジョ古墳の整備工事を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	—	—	—
	—	—	—
備考			
実績	与楽カンジョ古墳東側の旧田地を広場へ整備した。墳丘南側2段目にベンチ、地蔵の東側に史跡標識、史跡指定地の北西隅から南東隅にかけて獣害防止ネットの設置を行った。また、与楽カンジョ古墳～寺崎白壁塚古墳の不要木（柵・竹）の伐採を行った。		
成果と課題	令和4年度事業で墳丘の整備が完了し、令和5年度事業ではベンチを設置したこともあり、観光で訪れる人が年々増加している。		
今後の取組み	与楽古墳群は、今後も継続して与楽カンジョ古墳の周辺整備を進め、完了した後は、与楽鐘子塚古墳及び寺崎白壁塚古墳についても整備を進めていく。		
総合評価	—		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	与楽カンジョ古墳災害復旧工事（新規）		
分類	文化財		
事業の目的	令和5年6月2日の記録的な豪雨によって崩落した与楽カンジョ古墳の墳丘南東部の現状復旧を目的とする。		
事業内容の説明	墳丘南東部の崩落について、墳丘盛り土に雨水が浸透した際に雨水が逃げる道が無かったことが主な要因と考えられたため、雨水が逃げられるよう工夫して墳丘盛り土の復旧を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	—	—	—
	—	—	—
備考			
実績	崩落した墳丘南東部について、裏込めに真砂土を入れ、植生土のうを一段ずつ転圧をかけて積み上げていくことで、より強固な墳丘を築いた。その上に面状排水材を縦に3本入れた後に張芝を行うことで、墳丘盛り土への雨水の浸透を防止できるよう墳丘を復旧した。		
成果と課題	墳丘崩落の要因となった雨水対策を行って復旧したことによって、その後の大雨でも崩れず、墳丘に張った芝は問題なく成長している。		
今後の取組み	墳丘の芝生を植生土のうに根付かせることで、墳丘盛り土の流出を防止する一つの対策となるため、年に数回雑草の手入れをし、同様の被害の発生を防止する。		
総合評価	—		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	与楽罐子塚古墳災害復旧工事（新規）		
分類	文化財		
事業の目的	令和5年6月2日の記録的な豪雨によって与楽罐子塚古墳北東部の史跡地内の土砂が崩落したため、元々急峻な勾配であった崩落箇所付近を可能な限り安定勾配に近づけて復旧することを目的とする。		
事業内容の説明	崩落した与楽罐子塚古墳の史跡地北東部付近について、急峻な勾配を可能な限り安定勾配に近づけて復旧する。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	—	—	—
	—	—	—
備考			
実績	与楽罐子塚古墳の史跡指定地北東部の崩落箇所について、ボーリング調査を実施し、地盤の状況を確認した。その調査結果に基づき、崩落箇所の切土を行い安定勾配に成形した後、張芝を行った。		
成果と課題	切土を行って安定勾配を設けたことにより、その後は土砂崩落等の被害が発生していない。		
今後の取組み	根を張って土砂の流出を防止することが芝生を張った目的であるため、年に数回雑草の手入れをし、同様の被害の発生を防止する。		
総合評価	—		

# 社会教育

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	社会教育委員会議 (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	社会教育法に基づき、本町に置かれる社会教育委員の会議体として、社会教育委員会議を運営する。社会教育に関して教育委員会に助言を行う。		
事業内容の説明	社会教育委員 (兼・公民館運営審議委員) : 10名 ◎社会教育に関して教育委員会の諮問に対し意見を述べる。 ◎イングリッシュビレッジを立案する。(共催事業) ◎各大会への参加、社会教育関係団体へ参画する。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	会議の開催回数	7	7
	イングリッシュビレッジ開催回数	—	1
備考	イングリッシュビレッジについて、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送ったが、令和5年度は4年ぶりに実施することができた。		
実績	令和4年度 (定例会: 6回 臨時会: 1回) 各社会教育事業の報告・検討・意見交換・イングリッシュビレッジの検討、コロナ対策としての各施設の貸出条件の整備。  令和5年度 (定例会: 6回 臨時会: 1回) 各社会教育事業の報告・検討・意見交換・イングリッシュビレッジの検討・コロナ対策としての各施設の貸出条件の整備、町文化祭の開催。		
成果と課題	5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更になったことに伴って貸出の通常化を検討した。 イングリッシュビレッジを小学4~6年生を対象に実施し、英語に対する苦手意識を楽しむ英語体験で緩和することに寄与した。 町文化祭においても運営に直接関わり実施することができた。		
今後の取組み	幅広い分野での経験を持つ社会教育委員の知見は、社会教育事業を行う上で重要なものとする。今後も取組みを継続していく。		
総合評価	—		

評価基準 指標数値 $\geq$ 前年度比105%→「A」 前年度比95% $\leq$ 指標数値 $<$ 105%→「B」  
 前年度比80% $\leq$ 指標数値 $<$ 95%→「C」 指標数値 $<$ 前年度比80%→「D」 評価なし→「—」

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	生涯学習リベルテ教室 (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	町民の多種多様なニーズを踏まえ、生涯学習活動ができるよう学習環境の整備を図るとともに、学びを通じて人と人のつながりを豊かにし、地域の教育力向上およびコミュニティ振興に寄与することを目的とする。		
事業内容の説明	《教室一覧》和&洋リフォーム、籐工芸、水彩画、ペン画、フラワーアレンジメント、俳句、朗読、はじめての手品、陶芸、趣味の太極拳、歌謡フラ、健康レクダンス、健康いきいき体操、大正琴アンサンブル(入門)、大正琴アンサンブル(中級)、歌ってしゃべってラッタッタ		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	開催教室数	16	16
	教室生数	162	171
備考	令和5年度は「大正琴アンサンブル(中級)」と「はじめての手品」が開講し、「着付け」が閉講し、「はじめての陶芸」と「陶芸」が一つになった。そのため、前年度から教室数の増減はなし。		
実績	令和4年度 開催教室数：16教室 教室生数：162人  令和5年度 開催教室数：16教室 教室生数：171人		
成果と課題	前年度より受講生が微増した。また、再受講も多く、学習機会として一定のニーズを獲得していると考えられる。ただ、年々教室生が固定化する傾向にあり、新たな受講生の獲得が課題となっている。		
今後の取組み	令和5年度をもって「籐工芸」は閉講となる。文化祭が開催された場合は、教室で作った作品を展示し、次年度へ向けて新たな受講生の確保に務める。		
総合評価	<b>A</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	高取町文化祭（継続）		
分類	社会教育		
事業の目的	町民の生涯学習活動、文化芸術活動の充実発展、成果発表及び、町の文化振興に寄与することを目的とする。		
事業内容の説明	◎展覧会／芸能発表会 …生涯学習教室および個人・団体の展示、発表 ◎模擬店…飲食物、雑貨等の販売 ◎お茶席		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	来場者数	—	395
	出展・出演・出店合計数	—	273
備考	令和4年度は新型コロナウイルスの影響で中止したが、令和5年度は実施することができた。 文化協会が解散しているため、町・町教育委員会・社会教育委員会で主催し、自治会との共催で開催した。		
実績	【令和5年度】 展覧会出品数 145点 芸能発表出演者 126名（延べ） 模擬店出店 2軒 来場者数 395名		
成果と課題	4年ぶりに開催することができたが、作品の出品や、芸能発表会の出演者は以前に比べると減少した。 コロナ禍で様々な活動が制限された影響を少なからず感じた。 生涯学習教室等芸術文化に触れる機会を増やし、文化祭にもつなげていきたい。		
今後の取組み	今後も、町内の文化振興に携わる住民の方の発表の場となるように続けていきたい。		
総合評価	—		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	少年少女発明クラブ (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	次代を担う子どもたちに「ものづくり」を通じて、創造性豊かな子どもを育てることを目的とする。		
事業内容の説明	紙・木工・電子工作など、さまざまな分野の工作を専任指導員の指導の下、年間を通して行っている。 毎年、(公社)発明協会の補助(20万円)を受け、年間事業を実施している。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	参加者(人)	16	11
備考	毎年人数の増減はあるものの、4年生で参加してくれた子どもは、3年間続けて来てくれる傾向にある。		
実績	対象児童：小学4年生～小学6年生  【令和4年度】 参加者数 計16人(男4人 女12人)  【令和5年度】 参加者数 計11人(男4人 女7人)		
成果と課題	令和4年度に比べ少し人数が減少したが、ものづくりの楽しさを伝えるために、木工、手芸、電子工作といったいろいろなジャンルに挑戦できて子どもたちは喜んでくれたと感じる。 課題は、指導員の後継者探しが困難であること。		
今後の取組み	発明協会からの補助金や指導員の協力がなければ成り立たない事業ではあるが、子どもたちの為にも広報や文化祭を通じてPRしていき、活動を継続していきたい。 (奈良県内には発明クラブは、高取町を含め3か所しかない)		
総合評価	<b>D</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	リベルテホール貸館事業 (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	町民の文化の向上と福祉の増進を図るとともに、ふれあい豊かな地域社会に寄与することを目的とする。		
事業内容の説明	町内・町外問わず、部屋の貸出業務を行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	利用者数 (人)	7,895	13,158
	利用料 (円)	470,560	1,092,990
備考	令和4年度は新型コロナウイルスワクチン接種会場として長期間使用し、また感染拡大防止のため制限付きの貸出し業務となった。令和5年度5月以降は通常の貸出を再開し徐々に回復した。		
実績	<p>【令和4年度】 延べ利用者数 445件 7,895人 利用料 470,560円</p> <p>【令和5年度】 延べ利用者数 465件 13,158人 利用料 1,092,990円</p>		
成果と課題	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、通常の貸館が行えるようになったことで、一般の利用者が増加した。課題は、ホール運営スタッフ (ステージオペレータークラブ) の減少である。		
今後の取組み	ホールの運営について、職員によるオペレートを可能にするための研修、又は民間委託先の模索を検討していきたい。		
総合評価	<b>A</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	リベルテキッズらんど（継続）		
分類	社会教育		
事業の目的	子どもの居場所づくりや仲間づくりを目的としている。		
事業内容の説明	3歳児から小学6年生までの幼児児童を対象として事業を実施している。工作、調理、映画会、見学等さまざまな体験活動を行っている。 当町における学校・地域パートナーシップ事業の「放課後子ども教室」として位置づけている。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	実施回数	2	6
	参加者数	42	108
備考			
実績	令和5年度 6月「手話で防災」 8月「第13回金魚すくい選手権」 11月「文化祭でお店屋さん体験」 12月「シェードランプ作り」 1月「手作り 二十歳のつどい」 3月「防災について学ぼう」 たかとりっこ夢くらぶ役員会にて実施内容を検討した。		
成果と課題	令和4年度は2回実施し、令和5年度はコロナ以前と同じく6回実施した。		
今後の取組み	子どもたちのニーズを踏まえながら、内容を検討し取組を展開していきたい。		
総合評価	<b>A</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	奈良県学校・地域パートナーシップ事業（継続）		
分類	社会教育		
事業の目的	未来を担う子どもたちの成長を支え、社会に開かれた教育課程を実現するために、「地域と共にある学校づくり」を進め、学校を地域のベースとして地域コミュニティを再構成し、子どもたちの様々な教育課題の解決及び地域の教育力向上を図る。		
事業内容の説明	◎米作り・さつまいも作り（教育ファーム推進協議会） ◎読み聞かせ・図書修理（たかとり絵本を楽しむ会「あのね」） ◎登下校見守り（子ども見守り隊） ◎リベルテキッズらんど（たかとりっこ夢くらぶ役員会） ◎地域未来塾		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	学校支援ボランティア数	152	138
備考			
実績	学校支援ボランティア数 （令和4年度：152人 令和5年度：138人） 令和5年度は、教育ファームおよびリベルテキッズらんど、登下校の見守り、絵本の読み聞かせ、地域未来塾を実施した。		
成果と課題	令和5年度はコロナ前に実施していた事業を再開した。 ボランティアとして参加いただいている方がご高齢の方が多くもあつてか、ボランティア数は年々減少傾向にあり、人材確保が課題となっている。		
今後の取組み	ボランティアのご協力のもと、事業を継続できている。これからも、活動を引き続きお願いしていく。		
総合評価	<b>C</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	家庭教育の推進（継続）		
分類	社会教育		
事業の目的	子どもたちの健やかな成長と、保護者同士の交流と研修を目的とする。		
事業内容の説明	保護者同士で活動内容を考えてもらい、講座の講師謝礼や施設使用料を公費負担している。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	学級生参加者（人）	30	27
備考			
実績	<p>【令和4年度】 参加者数 計30人 活動内容：ヨガ・蒸しパン講座・味噌作り</p> <p>【令和5年度】 参加者数 計27人 活動内容：ストレッチ&amp;筋トレ・陶芸・バレーボール・バトミントン・漬け物</p>		
成果と課題	実情、少子高齢化が進み、地域とのつながりが希薄化し、親が身近な人から子育てを学んだり助け合う機会が減少する中で、いかに子どもや保護者のサポート、意見交換の場を設けるかが課題である。		
今後の取組み	参加者数は減少しているが、幼・小・中の保護者と連携し、地域の輪を広げていくことで、この活動を継続していきたい。		
総合評価	<b>C</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	二十歳のつどい (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	「人生の節目に改めて自覚を促し、祝い励ますとともに家族や友人、地域との繋がりをより深める機会とすること」を目的とする。		
事業内容の説明	例年、リベルテキッズらんど (小学生による受付、音響、照明、舞台、司会のお手伝い)、来賓の方々からの祝辞、記念品贈呈、二十歳の誓い、高取中学校吹奏楽部の演奏などを行う。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	出席率 (%)	73.5%	81.9%
備考			
実績	<p>令和4年度 対象者数 計49名 (男: 33名 女: 16名) 出席者数 計36名 (男: 26名 女: 10名)</p> <p>令和5年度 対象者数 計61名 (男: 31名 女: 30名) 出席者数 計50名 (男: 25名 女: 25名)</p>		
成果と課題	たかむち小学校6年生による司会や舞台裏方 (音響・照明・舞台係)、高取中学校吹奏楽部のお祝い演奏の実施をした。		
今後の取組み	二十歳を迎える人々にとって良い思い出になるように、ささやかでも温かい気持ちになれるような取組みをしていきたい。		
総合評価	<b>A</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	リベルテホール図書室管理運営事業 (継続)		
分類	社会教育		
事業の目的	図書を収集・整理・保存し、利用者に提供し、教養・調査研究・レクリエーション等に資することを目的に図書室を運営し、もって町の教育および文化の発展に寄与することを目的とする。		
事業内容の説明	◎図書の閲覧・貸出 (1人3冊2週間)、他館との相互貸借・連携 ◎おはなし会…たかとり絵本を楽しむ会「あのね」 ◎管理運営…カウンター業務をシルバー人材センターに委託 (3名のうち、1名司書有資格者)		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	貸出冊数	9,344	8,772
	貸出人数	3,451	3,335
備考	貸出冊数・人数ともに団体貸出を含む数を計上している。 (1団体100冊4週間)		
実績	(参考数値) 令和3年度 貸出冊数：9,304冊 貸出人数：3,306人 令和4年度 貸出冊数：9,344冊 貸出人数：3,451人 令和5年度 貸出冊数：8,772冊 貸出人数：3,335人		
成果と課題	貸出冊数、貸出人数ともにコロナ以前までの数値に戻りつつある。		
今後の取組み	今後ますます町民の皆さんに広く図書室を利用してもらえよう、引き続き広報等行っていきたい。		
総合評価	<b>B</b>		

# 社会体育

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	高取町民スポーツフェスティバル事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	スポーツを通して親睦を深めることを目的とする。		
事業内容の説明	世代別の種目や大字対抗種目などを行い、町民の親睦を深め、健康を増進することを目的として開催する。 これまで50回開催してきており、次回の開催で51回目となる。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	総参加人数（人）	-	3,454
備考			
実績	競技の追加、高取国際高校の書道部による書道パフォーマンス、キッチンカーの出展を第50回記念として行った。		
成果と課題	多くの住民の方に参加していただいたが、参加が難しい大字もあるため、参加方法の見直しが課題である。		
今後の取組み	令和6年度に第51回町民スポーツフェスティバルを開催予定		
総合評価	—		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業 (継続)		
分類	社会体育		
事業の目的	小学校児童が、市町村対抗子ども駅伝大会に向けた練習をする中で、体力向上、スポーツ全般に必要な基礎体力及び連帯力を向上させることを目的としている。		
事業内容の説明	奈良県内市町村対抗で行う駅伝大会であり、開催時期は例年3月頃である。 参加対象は小学校5年生、6年生である。		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	参加児童数 (人)	8	8
備考	令和6年3月2日 (土) 橿原運動公園にて第19回市町村子ども駅伝大会を開催した。		
実績	36チーム中25位		
成果と課題	練習会を7回開催し、本番に臨めた。 子どもの人数が減少し、選手募集に苦慮している。		
今後の取組み	第20回市町村対抗子ども駅伝大会が開催予定のため、練習会を開催し大会に臨む。		
総合評価	<b>B</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	スポーツ推進委員活動事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	市町村におけるスポーツ推進を目的とする。		
事業内容の説明	スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法第32条に基づき、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツ推進のため、住民に対するスポーツ実技の指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行う者である。 高取町では10名の方にスポーツ推進委員を委嘱しており、主な活動内容としては、各種研修会への参加及び各種スポーツイベントへの協力		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	委員活動回数（回）	17	21
備考			
実績	奈良県市町村対抗子ども駅伝大会の練習会への参加や研修会への参加を行った。		
成果と課題	新型コロナウイルス感染症の影響でスポーツイベントが中止となるが多かったため、スポーツ委員としての活動回数が減少していることが課題となっている。		
今後の取組み	スポーツ委員が参加できるイベント等の開催を検討していく。		
総合評価	<b>A</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	社会体育施設及び学校施設の活用・管理事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	スポーツ及び文化活動の場として町民に施設を開放することにより、体力づくり及び町民によるコミュニティづくりの推進を目的とする。		
事業内容の説明	開放施設 たかむち小学校運動場、体育館 高取中学校体育館（アリーナ、武道場） 健民運動場 テニスコート		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 実績
	社会体育施設使用料（円）	738,400	672,800
備考			
実績	利用時間、利用人数等の制限を撤廃し、町民の健康増進及びコミュニティづくりの推進を行えた。		
成果と課題	現在、体育館施設が小学校、中学校の2館しかなく、定期利用団体が利用しているため、新規の利用者が利用しにくい状況となっている。学校施設以外の体育館施設が必要と考える。		
今後の取組み	今後もスポーツ及び文化活動の場として町民に開放し、体力づくり及びコミュニティづくりの推進を図っていく。		
総合評価	<b>C</b>		

令和6年度高取町教育委員会評価報告書

事務事業名 (新規・継続)	総合型地域スポーツクラブ「メープルクラブ」事業（継続）		
分類	社会体育		
事業の目的	地域住民が主体的に運営するスポーツクラブとして、平成29年3月に発足。子どもから高齢者まで、それぞれの体力や技術に応じて、気軽にスポーツ活動及び文化活動に親しむことができる環境を提供し、多世代にわたる地域の交流や健康で活力ある地域づくりに寄与する。		
事業内容の説明	《開催教室一覧》 【子ども】キッズダンス、ジュニアダンスA・B、陸上、バスケットボール、バドミントン 【中学生以上一般・シニア】バドミントン(火)・(水)、ヨガ(夜) 【一般・シニア】ヨガ(初級)・(中級)、ノルディック・ウォーキング(火)・(土)		
活動・成果指標の推移	活動名及び単位等	令和4年度 実績	令和5年度 参考数値
	教室参加者数	168	173
	開催教室数	13	13
備考	令和5年3月に任意団体から一般社団法人になったことから、令和5年度については参考数値として計上し、令和6年度事業評価からは対象外とする。		
実績	令和4年度 (教室参加者数：168名、開催教室数：6種目13教室)  令和5年度 (教室参加者数：173名、開催教室数：6種目13教室)		
成果と課題	令和5年3月をもって一般社団法人に変更となった。教室数や開催回数を増やしたいが、町立の体育館がなく学校体育館を借りているため他の団体との場所の取り合いや、日中の教室の開催ができず、事業の拡大が難しい。		
今後の取組み	一般社団法人となったが、人的支援や補助金の交付等、町としてもサポートを続けていきたい。		
総合評価	<b>B</b>		

## 高取町教育委員会評価委員による評価

令和6年9月2日に高取町教育委員会評価委員会を開催し、それぞれの事業に対して以下の内容の評価・提案を受けた。

### 評価内容

#### 【教育総務】

##### 1. 高等学校等就学奨励金事業

経済的な困難さを抱える家庭が増えている中、少しでも支援金制度があることはありがたいと思います。今年度は5件と申請数も多く、要綱に定める対象者に対して周知も十分に行われていると思います。就学が困難な生徒に対して不利益にならないよう、今後とも継続して実施してほしいと思います。

##### 2. 学校教育活動支援事業

学習につまずきがあると、その時点でやる気をなくしてしまう児童・生徒が殆どだと思います。しかし、「学習指導員」が横に行って少しのアドバイスをすることで、やる気のない状態から、少しは「頑張ってみよう」「やってみよう」という気持ちが湧いてくると思います。一つのアドバイスによって児童は「自分も大切にされている」のだと思い、それが意欲、理解へと繋がっていくように思います。

また、「スクールサポートスタッフ」を配置することで、担任の仕事が軽減され、その分、児童生徒との関りが密になることから、より豊かな学校生活が送れるようになると思います。

「学習指導員」「スクールサポートスタッフ」の配置など他市町村と比べても教育力向上のため非常に手厚い取り組みをしていただいております。また、各学校の配置要望にも応えていただいていると思います。

学校現場が教員不足の状況にある一方で、支援を必要とする児童は年々増えてきています。今後も継続してほしいと思います。

#### 【学校教育】

##### 1. 確かな学力の育成

小中学校ともに、全ての教科で県平均を下回っています。しかし、小学校では、令和3年度から令和5年度まで奈良県教育委員会の指定を受け、3年間国語科の研究をしたこともあり、日常的なテスト等から国語力、読解力等が向上してきていると学校長からお聞きしました。これは、学校全体で取り組んでこられたことの成果であり、評価したいと思います。今後も、「研究が終わったから終わり」ではなく、継続して取り組んでほしいと思います。

調査の結果から、小学校、中学校ともに課題となる教科が明確になっています。小中学校教員には、基礎学力の定着・向上の方途を見出すための取り組みを行っていただき、確かな学力育成に取り組んでほしいと思います。また、個々に応じた学習形態を確立してほしいと思います。

##### 2. 豊かな人間性の育成

新型コロナウイルス感染症が5類になったことで学校行事も少しずつ戻すことができます。

豊かな人間性を育成するためには、学校教育だけでなく、より多くの体験や見聞が必要になると思います。そこで力になるのは、地域や保護者の力を借りて進めていくことだと思います。幸いなことに、「高取町民全体で協力していこう」という意識が高く、「農業体験」や「地域の伝統文化の伝授」など様々な分野で協力して頂いております。感謝申し上げます。準備等大変だと思いますが、時間や条件が許す限り、今後も継続して取り組んでほしいと思います。

## 【学校教育】

### 3. たくましい心身の育成(継続)

体力的には県平均レベルで及第点かと思われます。何をすることも体力が無ければ、集中力、持続性などが欠けてしまうこともあり、学習に対しても影響があるように思います。基礎体力をつけるために、体育の時間を始め、業間の時間を有効的に使い、たくましい心身の育成を継続してほしいと思います。また、体力テストで弱点が明確になっているので、それに対する取り組みも、年間を通して引き続きよろしくお願いします。

ただ、近年、気温が高温傾向になってきているため、休み時間などは、室内で過ごすことが多くなっていることが多いようです。運動場での遊び時間が減少しており、児童の気力低下が気になるようです。今後も、高温は避けられないように思います。休み時間の間など、運動場で活動できないこともあるので、体育館での活動を入れていくことも考えられます。しかし、体育館の中も高温となるため、体育館にクーラーを設置することも考えていく必要があるように思います。

### 4. ICT教育の充実(継続)

利用率の数値のみを見ると利用頻度は低いが、実績数値にあるように学年に相応する活用がなされています。通常授業で当たり前のようにタブレットが利用されるなど、有効な取り組みを推し進めていただいていると思います。

ICT活用能力は、これからの時代に必要不可欠な技能であり、今後も、ICTを活用した活動が増えていくと思われます。教員の力量でクラスによって差が出ないように、国や県が実施する研修会に参加し、教員も更にスキルアップをし、「出来る、出来ない」の二分化にならないようにしてほしいです。

### 5. キャリア教育(継続)

町内施設や事業所との交流を絶やさず実施している様子であり、安定・継続した取り組みとなっていると思います。この体験を通じて、子どもたちは、社会を学び、視野を広げ、将来の夢や進路に繋げていくと思います。高取町民の方々には、かなり協力していただけており、とてもありがたいと思います。

子どもが自立していくために欠かせない教育の一つであり、また、豊かな人間性の育成の一助となるため、今後も、地域の人材をしっかりと確保しながら継続して進めてほしいと思います。

### 6. 生徒指導の充実(継続)

児童生徒にとってはもちろん、保護者の方にとっても心の支えは大切です。そのため、心に寄り添う教育相談はとても重要であると思います。しかし、言葉では簡単に言えるとしても、とても難しい面もあると思います。授業動画を配信するなど、工夫して取り組まれていることに感謝したいと思います。

また、県からスクールカウンセラー1名(月1回)が配置されていることに加えて、高取町から同じように教育相談員1名(毎週金曜日)が配置されており、ありがたい取り組みだと思っています。

確認されたいじめや不登校状況も教育関係者内で共有されているようですし、今後も継続して、最重点課題として取り組んでほしいと思います。

### 7. 幼稚園・小学校・中学校間の交流と連携(継続)

新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、コロナ以前の交流会ができて、とてもよかったと思います。

幼小中の交流は、子どもたちの不安を少しでも取り除き、進級に向けた安心にもつながると思います。現在、幼稚園と小学校の交流では「作品展の見学」や「次年度に入学する幼児との交流会」などの交流を行っています。たかとり幼稚園がたかむち小学校の敷地に隣接していることが、良い交流に繋がっているようです。小学校と中学校との交流も活発に取り組んでほしいと思います。

先生方のための参観交流や、情報交換もなされており、とても有意義であると思います。今後も先生方の交流も大切にしながら、高取町でしか出来ない画期的で発展的な交流を期待しています。

## 【学校教育】

### 8. 通学路整備事業(継続)

町、PTA、地域の方々のご協力により防げている事故がたくさんあると思います。特に、地域での子ども見守り隊の活動には大変助かっています。

一方で、交通量の増大、交通マナーの低下、人目の少ない山間部の通学路など、永遠になくならない課題もあります。今までも幼稚園・小学校・中学校において交通事故は発生しています。事故が起こってからでは遅いので、危険箇所があればすぐにでも補修できる予算を確保してほしいと思います。PTA・学校と教育委員会、更には町と密な連携をして、今後も積極的に取り組んでほしいと思います。

### 9. 要保護・準要保護児童生徒の就学援助費支給事業(継続)

「経済的な理由による長期欠席者」の数が0人であったことは、取り組みの成果だと思います。就学援助の認定基準や給食費無償化などが手厚い状況であると思います。これからも経済的理由で長期欠席者が出ないように、学校・行政がそれぞれの立場で見守りつつ、継続して積極的に取り組んでほしいと思います。

## 【学校保健】

### 1. 学校給食センター施設管理事業(継続)

各種安全対策や衛生管理などがすばらしい実施状況にあります。子どもの命を守るために、ありとあらゆるところで細心の注意を払っていただいていることに感謝したいと思います。大変だと思いますが、今後も子どもたちの食の安全のために継続して各種点検を行って頂き、今まで通り、適切な給食センター施設管理を行って頂きたいと思います。

### 2. 安全・安心な学校給食の実施(継続)

メニューの工夫やアレルギー対応など、幼児児童生徒の気持ちに寄り添った形で、「安心・安全」を基本として学校給食を実施して頂いていることに感謝申し上げます。皆が同じものを食べられる環境づくりを行うことで、子どもたちも給食を楽しめていると思います。これは、子どもの命を守る上でとても重要な取り組みだと思います。学校においても、毎日チェックをして、間違いがないかを点検しているようです。命に関わる問題なので、今後も継続して取り組んでほしいです。米飯・牛乳・デザート等、直接学校へ納入する業者の安全確保も怠らないで欲しいと思います。

### 3. 教職員ストレスチェック事業(継続)

教職員の健康に対する課題が全国的にも広がっています。日々の業務でのストレスが大半だと言われています。全教職員がストレスチェック受けることができ、そのことが個々に反映されるシステムを考えていく必要があると思います。チェックを受けたから終わりではなく、産業医による診断やカウンセリングも大切だと思います。パワハラ・職員間関係等人間関係が原因での特休者が出ないような職場環境であることを願います。継続することが大切だと思いますので、今後も継続して事業の実施をお願いします。

### 4. 災害共済給付事業(継続)

共済掛金を、全額公費で負担していることはありがたいと思います。

申請数は、幼・小・中を合わせると全体的には減少傾向にあるようです。怪我を未然に防ぐために幼稚園・小学校・中学校においては、環境を整えると共に注意喚起を促していくことが大切だと思います。また、「なぜ怪我させたのか？」をしっかりと検証し、怪我をさせないための取り組みも進めてほしいです。ただ、怪我は突発的に起こるのでなかなか難しいことではあると思います。

この事業はとても良い制度だと思いますので、今後も継続して取り組んでほしいです。

## 【文化財】

### 1. 白壁塚東古墳発掘調査事業(新規)

新規事業であるため総合評価は「一」(前年度数値無し)ですが、ご担当者に説明いただき、現地に行きました。偶然とは言え大変な発見に思います。試掘にて掘割や木棺の手掛かりが出たことは重要です。まず、現時点の出土品の調査と保存に務めてください。そして、今後長い目で見て、これからの調査を、安全第一で進めて行くことと、墳形、玄室、羨道、年代、被葬者等に迄調査結果が出ます様に期待します。また、町民の皆さんに公表できるようにしていただきたいです。

### 2. 与楽古墳群整備事業(継続)

指標が設定し難いので総合評価は「一」ですが、ご担当者に説明いただき、現地確認を行いました。乾城古墳は整備事業が進みました。広場の整備、木製ベンチや石碑の設置、竹伐採で竹林が明るくなり、お陰で遠方からも古墳ファンによる訪問が増加傾向にあり、事業の成果だと思います。今後も計画書に従い、鐘子塚古墳や白壁塚古墳にも整備を継続されることを期待します。

### 3. 与楽カンジョ古墳災害復旧工事(新規)

新規事業であるため総合評価は「一」(前年度数値無し)ですが、ご担当者に説明いただき、現地に行きました。現地工事は完了し、きれいな方墳になりました。想定外の雨量に被災しましたが、近年の異常気象について、今後も豪雨は有り得ることで、貴重な文化財を守り、後世に残す様に、よろしくお願いします。

### 4. 与楽鐘子塚古墳災害復旧工事(新規)

新規事業であるため総合評価は「一」(前年度数値無し)ですが、ご担当者に説明いただき、現地に行きました。現地工事は完了していました。想定外の雨量による土砂崩れと排水が問題でしたが、適切に改修されたと思います。同時に被災した乾城古墳と同様に、貴重な文化財を守り、後世に残す様に、よろしくお願いします。

4事業とも適切に行われ妥当と思います。特に、災害対策は是非もなく迅速に対応され、現地は只今落ち着いています。しかし、年度計画はいかがでしたでしょうか。当面は、白壁塚東古墳発掘調査に注力してもらいたいです。高取町の文化財を管理される高取町歴史研修センターとしては年度計画、将来展望ありきで、その他は臨機応変でこなさなければなりません。そうしますと、マンパワーに依りますので、現状では人手不足で十分な活動が出来ないのではないかと危惧します。町内の文化財について、恐縮ですが、今一度、歴史的価値と機能を高める整備・検討をされてはいかがでしょうか。

## 【社会教育】

### 1. 社会教育委員会議(継続)

コロナ禍や数値化が難しい事業のため総合評価が「一」になっていますが、会議では住民としての目線で積極的に意見を出し合い、意欲的に取り組まれています。執行機関である教育委員会事務局職員とも良好な関係で、共に前向きな事業展開を目指されています。特に、イングリッシュビレッジは、子どもたちにとってとても良い体験になっています。

### 2. 生涯学習リベルテ教室(継続)

前年度より受講生が増えたことは嬉しいことです。学習の場があることで、人と人とのつながりもでき、町民の活力にもつながっていると思います。

そのため、生涯学習教室の受講者数や教室数の増大を願っていますが、指導者の発掘や・協力という難関があるため、一朝一夕には教室数の増大は図れません。そこで、教室とは言えなくても、同じ趣味の者が集う会に対して会場を提供することや、そういった機会を発案することはできないでしょうか？より多くの町民の生きがい・楽しみとなるような活動を願います。

### 3. 高取町文化祭(継続)

町・町教育委員会・社会教育委員会が主催し、自治会と共催する形で開催できてよかったです。コロナ禍以前ほどの参加者数ではありませんでしたが、笑顔をたくさん見ることができました。町の活性化にもつながるとともに生涯学習教室の1つの目標にもなると思いますので、今後も実施、継続をお願いします。

## 【社会教育】

### 4. 少年少女発明クラブ(継続)

県内で3か所しか実施していない科学クラブであり、誇るべきことだと思います。高取町にこのような事業があることで喜んでいる子どもたちがいると思います。指導員不足については考えなければいけませんが、補助金や指導者が続く限り、今後も事業の継続を願っています。

### 5. リベルテホール貸館事業(継続)

新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、一般利用者が増加したことは、非常に嬉しいことです。一般利用者によるホール利用が増加する中で、ホールスタッフは不足していないでしょうか？不足しているのであれば、民間委託は費用がかさむと思いますので、有償ボランティアにすることで人員増加に努めるとはいかないでしょうか？このような部分も含め、今後は課題の検討をよろしくお願いします。

### 6. リベルテキッズらんど(継続)

新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、コロナ前と同じく年6回実施でき、子どもたちにとっても非常に良かったと思います。子どもたちのために「たかとり夢くらぶ」の役員の方々は、様々な意見を出し合って積極的に活動されています。このような団体が高取町内にあることは、子どもたちの育成にとっても大切だと思います。リベルテキッズらんど、発明クラブ、放課後子ども教室、メープルクラブ等、子どもを対象とした社会教育事業等についても、住み分けや合同開催などを考えてはどうでしょうか。今後も事業の継続をお願いします。

### 7. 奈良県学校・地域パートナーシップ事業(継続)

ボランティアの皆様のおかげで子どもたちが豊かな体験・経験ができており、また、子どもたちの安全が守られていると思います。地域の力を活かす事業であり、本町においても十分な取り組みをされていると思いますので、ご協力に感謝するとともに、今後も事業の継続をお願いします。

ただ、ボランティアの方々の高齢化やそれに伴う協力者数の減少は悩みの種になっています。教育課程の変化と共に実施する内容も変化するのが当然であるため、精選する意味でも、毎年、学校が希望するもののみを実施することとし、学校とのすり合わせを密に行うようにお願いします。

### 8. 家庭教育の推進(継続)

SNSの利用で社会が大きく変化した今、保護者のネットワークのあり方も日々変化しています。

しかし、1か所に集まり、顔を突き合わせて共に行動することを有意義と考える保護者の方々にとっては、保護者同士の縦のつながり・横のつながりを作るにあたり、とても良い交流の場、リフレッシュできる場になっていると思います。家庭教育のあり方については、それぞれ考え方や背景の違いもあり、その時代にあった活動でいいと考えます。講座講師の謝礼・施設使用料の公費負担は、非常にありがたいと思います。今後もよろしくお願いします。

### 9. 二十歳の集い(継続)

二十歳を祝う会の開催には、二十歳になる方・保護者ともに喜んでいただいていると思われまます。また、令和4年度では中学校の吹奏楽部の演奏が復活し、令和5年度ではリベルテキッズらんどのお手伝いが再開できて本当に良かったです。子どもたちがお手伝いをする高取町の二十歳のつどいは、とても温もりを感じます。今後もこの様な形の二十歳のつどいを続けていただきたいと思います。

### 10. リベルテ図書室管理運営事業(継続)

通常運営となって、利用者が戻り、有効活用されているようでありがたいです。ネット蔵書検索や整理など前向きな運営がなされていると思います。また、図書室内の本の並べ方が工夫されていて、とても見やすいと感じました。読みたい本や読んでみたい本もたくさんあると思いますので、引き続き広報活動をよろしくお願いします。

## 【社会体育】

1. 高取町民スポーツフェスティバル事業(継続)  
町民の健康推進のために、今後も継続をして取り組んでほしいと思います。
2. 奈良県市町村対抗子ども駅伝大会事業(継続)  
予選会にも参加する児童が増え、そのことが、成績に反映され、すばらしい成績を残すことができました。関係者の皆様に感謝申し上げたいと思います。今後も町全体として取り組んでほしいです。
3. スポーツ推進委員活動事業  
今後も、積極的に開催して頂ければと思います。
4. 社会体育施設及び学校施設の活用・管理事業  
町民の体力維持・増進を進めていくためには、施設の充実が大切なことだと思います。今現在、町の施設を見渡してみると、体育館施設が足りないと思います。早急に町と相談して、検討していく必要があると思います。
5. 総合型地域スポーツクラブ「メープルクラブ」事業(継続)  
この事業を進めていくに当たっても、スポーツ施設の充実が大切なことだと思います。  
4と同じように町と話し合いを持って、前向きに検討してほしいと思います。2031年には奈良県で国体も開催されます。